



令和2年12月25日

令和2年度学校基本調査（確定値）の公表について

文部科学省は、学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的として、標記調査を昭和23年度より毎年実施しています。
今般、令和2年度の確定値をとりまとめたので、公表します。

1 調査内容

- (1) 調査期日：令和2年5月1日現在
- (2) 調査対象：幼稚園，幼保連携型認定こども園，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，中等教育学校，特別支援学校，大学，短期大学，高等専門学校，専修学校及び各種学校並びに市町村教育委員会
- (3) 調査項目：学校数，在学者数，教員数，卒業者数，進学者数，就職者数等

2 調査結果

主な結果は次頁以降の「令和2年度学校基本調査調査結果のポイント」のとおり。
なお、詳細集計表は「政府統計の総合窓口（e-Stat）」に掲載。
(<https://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001011528>)

3 今後の対応

都道府県を始め関係機関にお知らせするとともに、国及び地方における教育諸政策を検討・立案するための基礎資料として活用を図る。

<担当> 総合教育政策局調査企画課
課長 岸本 哲哉
分析調査官 山本 典子
学校基本調査係長 大瀬 寛彰
電話：03-5253-4111（内線 2264、2265）

令和2年度学校基本調査調査結果のポイント

I. 学校数, 在学者数, 教員数

1. 初等中等教育機関, 専修学校・各種学校

(注)本項は8月25日に速報として公表済みであり, その一部の数値について確報値に更新したものである。

< 在学者数等 >

- 幼稚園は, 107万8千人で, 前年度より6万7千人減少。
- 幼保連携型認定こども園は, 75万9千人で, 前年度より6万4千人増加し, 過去最多。
- 小学校は, 630万1千人で, 前年度より6万8千人減少し, 過去最少。
- 中学校は, 321万1千人で, 前年度より7千人減少し, 過去最少。
- 義務教育学校は, 5万人で, 前年度より9千人増加し, 過去最多。
- 高等学校は, 309万2千人で, 前年度より7万6千人減少。
- 中等教育学校は, 3万2千人で, 前年度より3百人増加。
- 特別支援学校は, 14万5千人で, 前年度より4百人増加し, 過去最多。
- 専修学校は, 66万1千人で, 前年度より1千人増加。
うち高等課程は, 3万4千人で, 前年度より1千人減少。
- 各種学校は, 10万5千人で, 前年度より1万2千人減少し, 過去最少。

< 教員数 >

- 教員全体に占める女性の割合は, 幼保連携型認定こども園94.8%(前年度より0.1ポイント上昇), 中学校43.7%(前年度より0.2ポイント上昇), 義務教育学校53.5%(前年度より0.4ポイント上昇), 高等学校32.5%(前年度より0.2ポイント上昇), 中等教育学校35.2%(前年度より0.5ポイント上昇), 特別支援学校61.9%(前年度より0.3ポイント上昇)で過去最高。

表1 初等中等教育機関, 専修学校・各種学校の学校数, 在学者数, 教員数

区 分	学 校 数 (校)				在 学 者 数 (人)				教 員 数 (本務者) (人)		
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	うち女性	女性の比率 (%)
幼 稚 園	(-372)	(-)	(-232)	(-140)	(-67,080)	(-129)	(-22,551)	(-44,400)	(-1,794)	(-1,627)	(-)
	9,698	49	3,251	6,398	1,078,496	5,114	145,486	927,896	91,785	85,759	93.4
幼保連携型 認定こども園	(571)	(-)	(91)	(480)	(63,799)	(-)	(9,658)	(54,141)	(11,270)	(10,812)	(0.1)
	5,847	-	834	5,013	759,013	-	94,721	664,292	120,785	114,540	94.8
小 学 校	(-213)	(-1)	(-215)	(3)	(-67,857)	(-725)	(-67,877)	(745)	(619)	(908)	(0.1)
	19,525	68	19,217	240	6,300,693	36,622	6,185,145	78,926	422,554	263,185	62.3
中 学 校	(-80)	(-1)	(-80)	(1)	(-6,918)	(-999)	(-8,908)	(2,989)	(-11)	(502)	(0.2)
	10,142	69	9,291	782	3,211,219	27,701	2,941,423	242,095	246,814	107,981	43.7
義務教育学校	(32)	(1)	(30)	(1)	(8,930)	(1,048)	(7,736)	(146)	(966)	(533)	(0.4)
	126	4	121	1	49,677	3,383	46,148	146	4,486	2,402	53.5
高 等 学 校	(-13)	(-)	(-13)	(-)	(-76,305)	(-24)	(-66,098)	(-10,183)	(-2,074)	(-109)	(0.2)
	4,874	15	3,537	1,322	3,092,064	8,452	2,065,980	1,017,632	229,245	74,577	32.5
中等教育学校	(2)	(-)	(1)	(1)	(273)	(-37)	(353)	(-43)	(41)	(27)	(0.5)
	56	4	33	19	32,426	2,914	22,743	6,769	2,683	945	35.2
特別支援学校	(3)	(-)	(3)	(-)	(389)	(-42)	(421)	(10)	(597)	(599)	(0.3)
	1,149	45	1,090	14	144,823	2,909	141,090	824	85,933	53,187	61.9
専 修 学 校	(-22)	(-)	(-)	(-22)	(1,481)	(-37)	(-602)	(2,120)	(-280)	(-191)	(-0.1)
	3,115	9	187	2,919	661,174	305	23,734	637,135	40,824	21,504	52.7
うち高等課程 を置く学校	(-4)	(-)	(-)	(-4)	(-996)	(-3)	(-44)	(-949)	(-91)	(-60)	(-0.4)
	404	1	6	397	34,075	6	438	33,631	2,512	1,339	53.3
各 種 学 校	(-17)	(-)	(-)	(-17)	(-11,717)	(-)	(4)	(-11,721)	(45)	(112)	(1.0)
	1,102	-	6	1,096	105,203	-	499	104,704	8,866	3,947	44.5

(注) ()は, 前年度からの増減値である。

2. 高等教育機関

(注)本項は8月25日に速報として公表済であり、その一部の数値について確報値に更新したものである。

< 在学者数 >

- 大学全体の在学者数は、291万6千人で、前年度より3千人減少。
うち学部 262万4千人で、前年度より1万4千人増加し、過去最多。
うち大学院 25万5千人で、前年度と横ばい。
うち専攻科 1千人で、前年度とほぼ横ばい。
うち別科 4千人で、前年度より1千人減少。
うちその他 3万3千人で、前年度より1万6千人減少。
- 大学学部的女子学生は、119万3千人で、前年度より1万人増加し、過去最多。
また、学生全体に占める女子の割合は、45.5%(前年度より0.1ポイント上昇)で過去最高。
- 短期大学学生数は、10万8千人で、前年度より5千人減少。
- 高等専門学校学生数は、5万7千人で、前年度より2百人減少。
- 専門学校生徒数は、60万4千人で、前年度より7千人増加。

< 教員数 >

- 大学全体の女性の教員数は、4万9千人(前年度より1千5百人増加)で過去最多。
また、教員全体に占める女性の割合は、25.9%(前年度より0.6ポイント上昇)で過去最高。

表2 高等教育機関の学校数、在学者数、教員数

区分	学校数(校)				在学者数(人)						教員数(本務者)(人)		
	計	国立	公立	私立	計	うち女子	女子の比率(%)	国立	公立	私立	計	うち女性	女性の比率(%)
大 学	(9) (-) (1) (8)				(-3,063)	(1,225)	(0.1)	(-7,568)	(403)	(4,102)	(1,737)	(1,520)	(0.6)
	795 86 94 615				2,915,605	1,294,320	44.4	598,881	158,579	2,158,145	189,599	49,138	25.9
	うち学部	(9) (-) (1) (8)			(14,424)	(9,503)	(0.1)	(-2,239)	(1,041)	(15,622)			
	770 82 92 596				2,623,572	1,193,465	45.5	435,162	139,694	2,048,716			
	うち大学院	(1) (-) (-) (1)			(-92)	(555)	(0.2)	(-767)	(240)	(435)			
	643 86 84 473				254,529	82,982	32.6	152,007	16,668	85,854			
	うち修士課程	(-) (-) (-) (-)			(-1,964)	(-384)	(0.2)	(-1,633)	(46)	(-377)			
	614 86 82 446				160,297	50,933	31.8	93,720	10,699	55,878			
	うち博士課程	(1) (-) (-) (1)			(634)	(376)	(0.3)	(315)	(170)	(149)			
	459 77 66 316				75,345	25,588	34.0	50,886	5,222	19,237			
うち専門職 学位課程	(-1) (-) (-) (-1)			(1,238)	(563)	(0.8)	(551)	(24)	(663)				
124 61 7 56				18,887	6,461	34.2	7,401	747	10,739				
うち専攻科				(69)	(32)	(-2.2)	(1)	(10)	(58)				
				902	659	73.1	297	119	486				
うち別科				(-1,026)	(-542)	(0.2)	(-30)	(-5)	(-991)				
				3,694	1,987	53.8	300	58	3,336				
うちその他				(-16,438)	(-8,323)	(-1.4)	(-4,533)	(-883)	(-11,022)				
				32,908	15,227	46.3	11,115	2,040	19,753				
短 期 大 学	(-3) (-) (-) (-3)			(-5,417)	(-5,222)	(-0.4)	(-)	(-193)	(-5,224)	(-229)	(-84)	(0.5)	
323 - 17 306				107,596	94,644	88.0	-	5,548	102,048	7,211	3,832	53.1	
高 等 専 門 学 校	(-) (-) (-) (-)			(-150)	(350)	(0.7)	(-81)	(19)	(-88)	(-55)	(6)	(0.3)	
57 51 3 3				56,974	11,671	20.5	51,217	3,800	1,957	4,114	472	11.5	
専 門 学 校	(-26) (-) (-) (-26)			(6,545)	(2,960)	(-0.1)	(-34)	(-556)	(7,135)	(-158)	(-115)	(-0.1)	
2,779 9 184 2,586				604,415	343,425	56.8	299	23,293	580,823	37,235	19,988	53.7	

(注) 1 ()は、前年度からの増減値である。

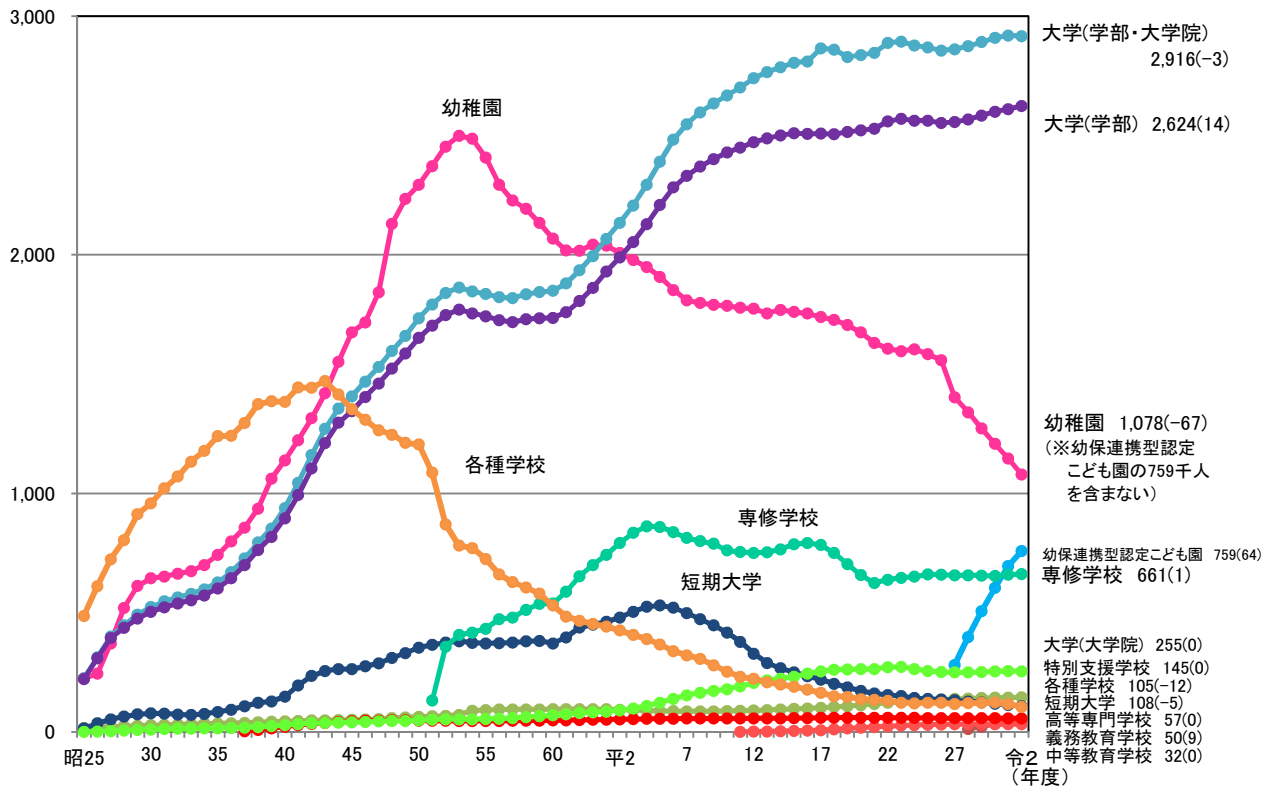
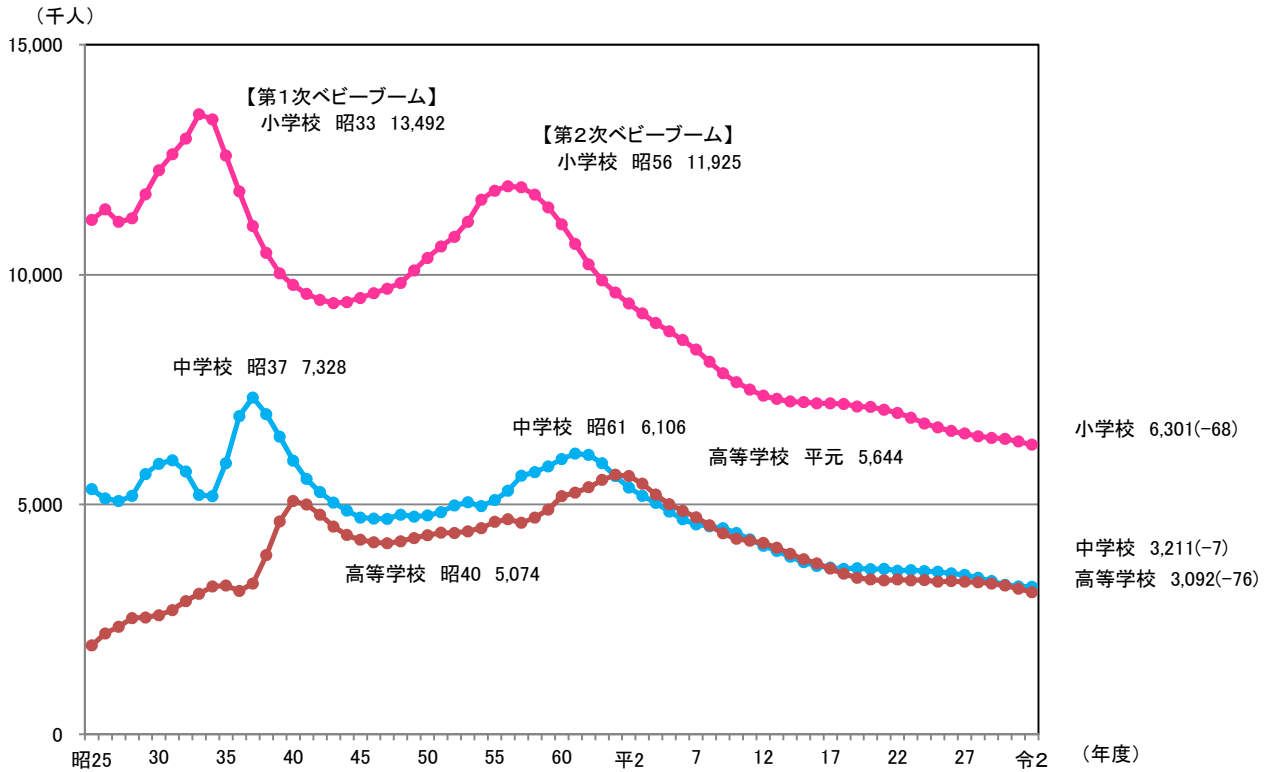
2 「在学者数」には、学部学生・本科学士のほか、専攻科・別科の学生、科目等履修生等を含む。

3 「大学」のうち数については、在学者がいる学校数を計上している。

4 「うちその他」の学生とは、科目等履修生、聴講生及び研究生である。

5 「専門学校」とは、専修学校のうち専門課程を置く学校をいう。

【参考】各学校段階ごとの在学者数の推移(図1)

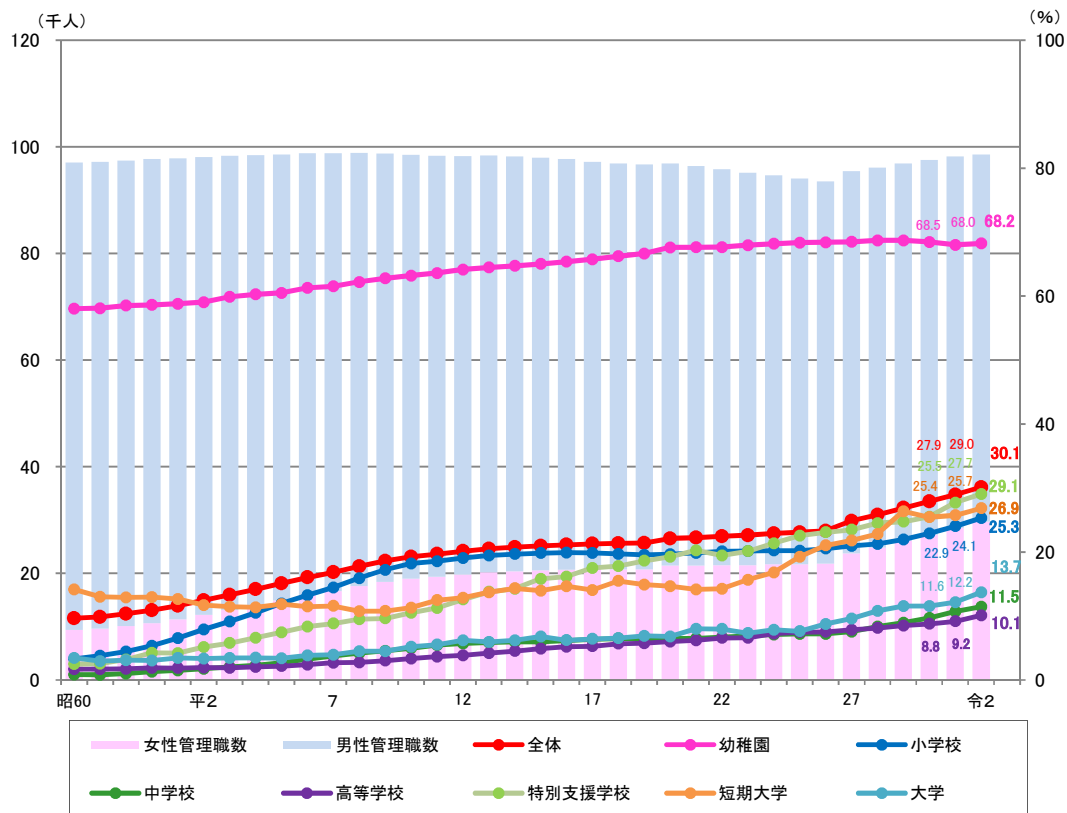


(注) 1 ()内の数値は、前年度からの増減値(単位:千人)である。
 2 特別支援学校は、平成18年度以前は盲学校、聾学校及び養護学校の計である。
 3 大学(学部・大学院)には、学部学生、大学院学生のほか、専攻科・別科の学生、科目等履修生等を含む。

3. 女性管理職

○ 女性管理職の割合は、30.1% (前年度より1.1ポイント上昇) となり、過去最高。

図2 女性管理職の割合



- (注) 1 「全体」には、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、短期大学、大学の他、幼保連携型認定こども園、義務教育学校、中等教育学校、高等専門学校の教員を含む。
 2 管理職数は、教員のうち校(園)長、副校(園)長、教頭、学長、副学長の数である。

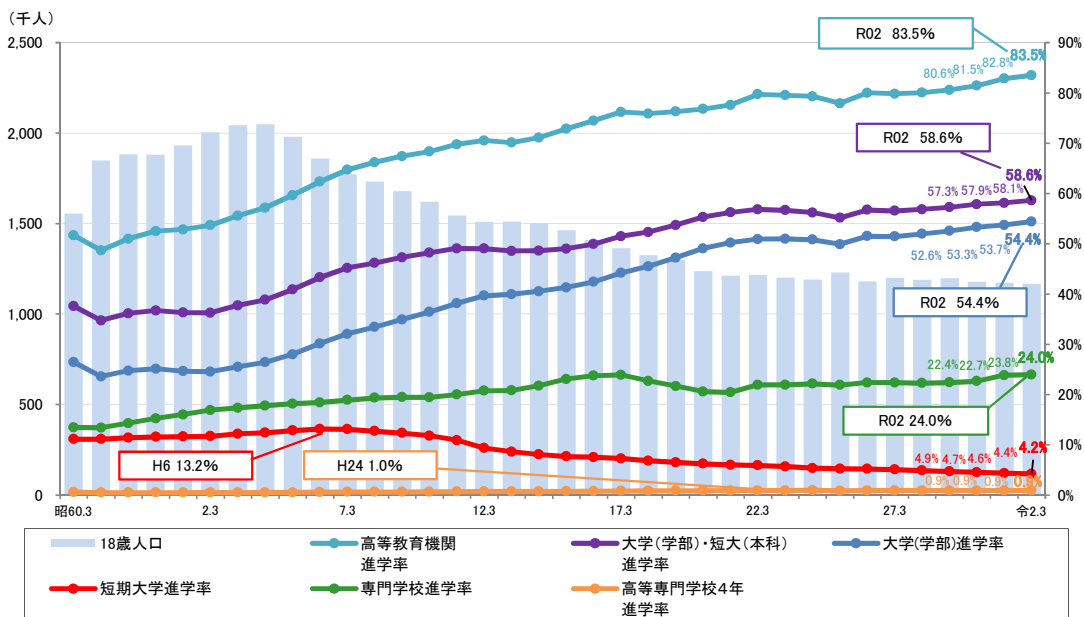
II. 卒業後の状況

1. 高等学校等卒業生

高等学校等：高等学校(全日制・定時制)，中等教育学校後期課程卒業生(過年度卒を含む)。

- 高等教育機関(大学(学部)・短期大学(本科)入学者，高等専門学校4年在学者及び専門学校入学者)への進学率は83.5%で，前年度より0.7ポイント上昇し，過去最高。
- 大学(学部)・短期大学(本科)進学率は58.6%で，前年度より0.5ポイント上昇し，過去最高。
大学(学部)進学率は54.4%で，前年度より0.7ポイント上昇し，過去最高。
専門学校進学率は24.0%で，前年度より0.2ポイント上昇し，過去最高。

図3 高等教育機関への進学率



- (注) 1 高等教育機関進学率 = $\frac{\text{大学(学部)・短期大学(本科)入学者, 高等専門学校4年在学者及び専門学校入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校・義務教育学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$
- 2 大学(学部)進学率 = $\frac{\text{大学(学部)の入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校・義務教育学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$
- 3 短期大学・専門学校の進学率は，(注)2 計算式の入学者部分にそれぞれの入学者を当てはめて算出。
高等専門学校4年進学率は，同部分に4年生の学生数を当てはめて算出。
- 4 □で囲んだ年度は，最高値である。

2. 大学(学部)卒業者

- 大学院等への進学率は、ゆるやかな上昇傾向にあったが、平成22年度(平成22年3月)をピークに、10年連続低下し、11.3%(前年度より0.1ポイント低下)。
- 卒業者に占める就職者の割合は、77.7%(前年度より0.3ポイント低下)。

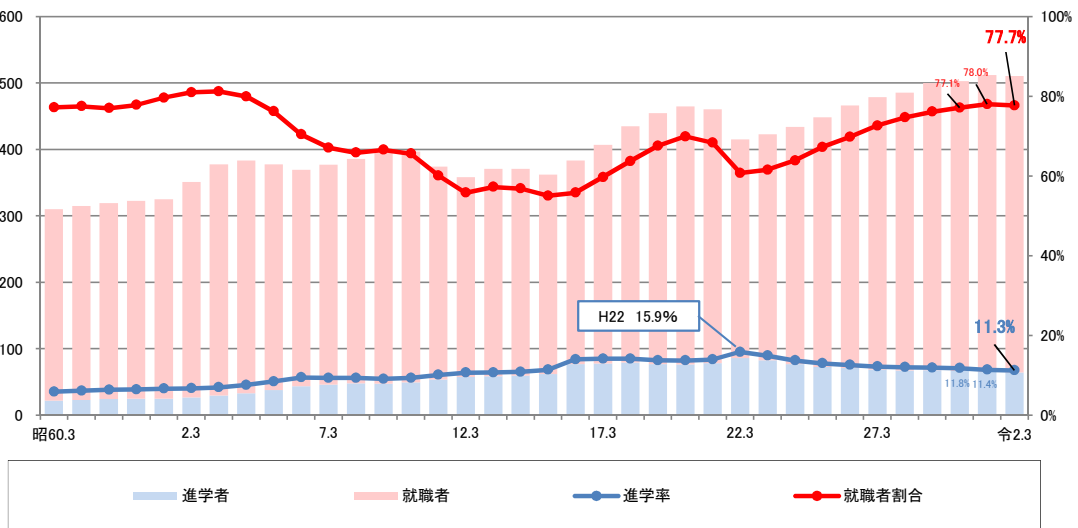
表3 大学(学部)卒業後の状況

(単位:人,%)

区分	卒業者	進学者(率)	就職者 (卒業者に占める 就職者の割合)	有期雇用労働者 [雇用契約期間が 1か月以上かつ1年 未満](率)	臨時労働者(率)	一時的な仕事に就 いた者(率)	臨床研修医 (率)	左記以外の者 (率)	不詳・死亡の者 (率)	(再掲)進学者の うち就職してい る者
平成22年3月	541,428	86,039 (15.9)	329,190 (60.8)	19,332 (3.6)	8,944 (1.7)	87,174 (16.1)	10,807 (2.0)	58
23年3月	552,358	82,657 (15.0)	340,217 (61.6)	19,107 (3.5)	8,923 (1.6)	88,007 (15.9)	13,521 (2.4)	74
24年3月	558,692	76,856 (13.8)	357,088 (63.9)	19,569 (3.5)	8,893 (1.6)	86,566 (15.5)	9,797 (1.8)	77
25年3月	558,853	72,822 (13.0)	375,957 (67.3)	16,736 (3.0)	8,984 (1.6)	75,929 (13.6)	8,523 (1.5)	98
26年3月	565,573	71,387 (12.6)	394,845 (69.8)	14,519 (2.6)	8,899 (1.6)	68,484 (12.1)	7,516 (1.3)	77
27年3月	564,035	68,958 (12.2)	409,759 (72.6)	11,730 (2.1)	9,056 (1.6)	58,102 (10.3)	6,479 (1.1)	49
28年3月	559,678	67,563 (12.1)	418,163 (74.7)	10,184 (1.8)	9,418 (1.7)	48,866 (8.7)	5,552 (1.0)	68
29年3月	567,763	67,734 (11.9)	432,333 (76.1)	9,183 (1.6)	9,313 (1.6)	44,182 (7.8)	5,088 (0.9)	70
30年3月	565,436	66,830 (11.8)	436,156 (77.1)	8,684 (1.5)	9,603 (1.7)	39,854 (7.0)	4,368 (0.8)	59
31年3月	572,639	65,355 (11.4)	446,882 (78.0)	8,165 (1.4)	9,851 (1.7)	38,232 (6.7)	4,242 (0.7)	88
令和2年3月	573,947	64,627 (11.3)	446,082 (77.7)	5,935 (1.0)	2,849 (0.5)	...	9,905 (1.7)	40,809 (7.1)	3,940 (0.7)	200

- (注) 1 「進学者」には、大学院研究科、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科・別科、専修学校、外国の学校へ入学した者を含む。
 2 「就職者」には、自営業主等、無期雇用労働者、雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の有期雇用労働者及び進学者のうち就職している者を含む。
 なお、進学者のうち就職している者は、「進学者」、「就職者」にそれぞれ計上されているため、項目横計と卒業者は一致しない。
 3 「左記以外の者」とは、進学でも就職でもないことが明らかである(進学準備中の者、就職準備中の者、家事の手伝いなど)。

図4 大学(学部)卒業者の主な進路状況
(千人)



- (注) 1 就職者割合の最高値は、昭和37年3月の86.6%。
 2 □で囲んだ年度は、最高値である。

3. 修士課程修了者

- 大学院等への進学率は、9.8%(前年度より0.3ポイント上昇)。
- 修了者に占める就職者の割合は、77.9%(前年度より0.7ポイント低下。)

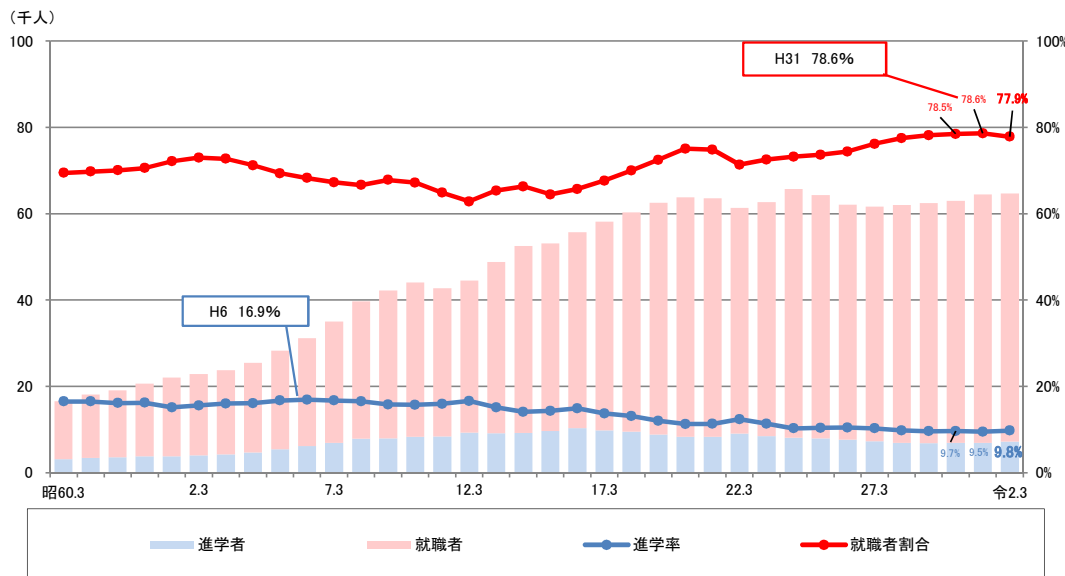
表4 修士課程修了者の卒業後の状況

(単位:人,%)

区分	修了者	進学者(率)	就職者 (修了者に占める 就職者の割合)	有期雇用労働者 〔雇用契約期間が 1ヵ月以上から1年未 満〕(率)	臨時労働者(率)	一時的な仕事に就 いた者(率)	臨床研修医	左記以外の者 (率)	不詳・死亡の者 (率)	(再掲)進学者のう ち就職している者
平成22年3月	73,220	9,101 (12.4)	52,278 (71.4)	1,099 (1.5)	-	8,687 (11.9)	2,281 (3.1)	226
23年3月	74,680	8,508 (11.4)	54,188 (72.6)	997 (1.3)	-	9,048 (12.1)	2,121 (2.8)	182
24年3月	78,711	8,123 (10.3)	57,659 (73.3)	1,199 (1.5)	-	10,266 (13.0)	1,692 (2.1)	228
25年3月	76,511	7,972 (10.4)	56,381 (73.7)	1,270 (1.7)	-	9,540 (12.5)	1,565 (2.0)	217
26年3月	73,154	7,691 (10.5)	54,450 (74.4)	1,177 (1.6)	-	8,751 (12.0)	1,288 (1.8)	203
27年3月	71,301	7,360 (10.3)	54,345 (76.2)	1,118 (1.6)	-	7,498 (10.5)	1,187 (1.7)	207
28年3月	71,016	6,976 (9.8)	55,046 (77.5)	1,021 (1.4)	-	6,986 (9.8)	1,212 (1.7)	225
29年3月	71,187	6,860 (9.6)	55,656 (78.2)	989 (1.4)	-	6,795 (9.5)	1,114 (1.6)	227
30年3月	71,446	6,923 (9.7)	56,089 (78.5)	864 (1.2)	-	6,828 (9.6)	954 (1.3)	212
31年3月	73,169	6,981 (9.5)	57,518 (78.6)	921 (1.3)	-	6,842 (9.4)	1,133 (1.5)	226
令和2年3月	73,813	7,238 (9.8)	57,467 (77.9)	842 (1.1)	211 (0.3)	...	-	7,378 (10.0)	965 (1.3)	288

- (注) 1 「進学者」には,大学院研究科, 大学学部,短期大学本科,大学・短期大学の専攻科・別科, 専修学校, 外国の学校へ入学した者を含む。
 2 「就職者」には, 自営業主等, 無期雇用労働者, 雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の有期雇用労働者
 及び進学者のうち就職している者を含む。
 なお, 進学者のうち就職している者は, 「進学者」, 「就職者」にそれぞれ計上されているため, 項目横計と修了者は一致しない。
 3 「左記以外の者」とは, 進学でも就職でもないことが明らかな者である(進学準備中の者, 就職準備中の者, 家事の手伝いなど)。

図5 修士課程修了者の主な進路状況



(注) □で囲んだ年度は, 最高値である。

4. 博士課程修了者

○ 修了者に占める就職者の割合は7年連続で上昇し、69.8%(前年度より0.8ポイント上昇)となり、過去最高。

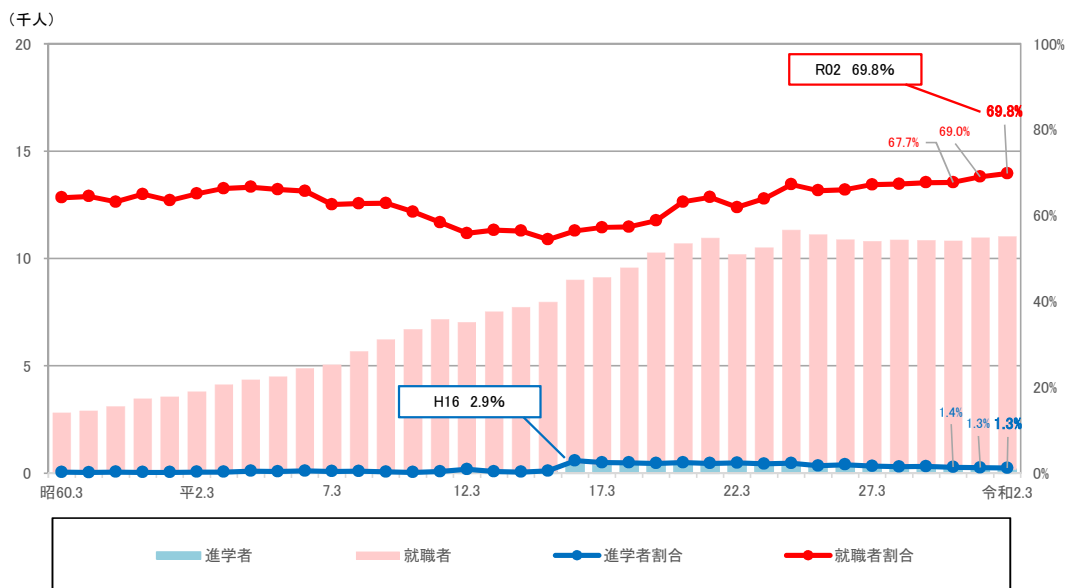
表5 博士課程修了者の卒業後の状況

(単位:人,%)

区分	修了者	進学者(率)	就職者 (修了者に占める 就職者の割合)	有期雇用労働者 [雇用契約期間が 1ヵ月以上かつ1年未 満](率)	臨時労働者(率)	一時的な仕事に就 いた者(率)	臨床研修医 (率)	左記以外の者 (率)	不詳・死亡の者 (率)	(再掲)進学者の うち就職してい る者
平成22年3月	15,842	389 (2.5)	9,812 (61.9)	950 (6.0)	1 (0.0)	3,171 (20.0)	1,559 (9.8)	40
23年3月	15,892	350 (2.2)	10,160 (63.9)	1,022 (6.4)	1 (0.0)	2,867 (18.0)	1,502 (9.5)	10
24年3月	16,260	387 (2.4)	10,937 (67.3)	855 (5.3)	2 (0.0)	3,003 (18.5)	1,145 (7.0)	69
25年3月	16,445	291 (1.8)	10,828 (65.8)	998 (6.1)	1 (0.0)	3,082 (18.7)	1,264 (7.7)	19
26年3月	16,003	324 (2.0)	10,563 (66.0)	1,019 (6.4)	1 (0.0)	3,159 (19.7)	960 (6.0)	23
27年3月	15,684	265 (1.7)	10,541 (67.2)	944 (6.0)	1 (0.0)	2,967 (18.9)	996 (6.4)	30
28年3月	15,773	240 (1.5)	10,628 (67.4)	1,026 (6.5)	1 (0.0)	2,916 (18.5)	968 (6.1)	6
29年3月	15,658	257 (1.6)	10,601 (67.7)	933 (6.0)	- (-)	2,936 (18.8)	986 (6.3)	55
30年3月	15,658	225 (1.4)	10,603 (67.7)	833 (5.3)	3 (0.0)	2,981 (19.0)	1,039 (6.6)	26
31年3月	15,578	208 (1.3)	10,756 (69.0)	840 (5.4)	6 (0.0)	2,702 (17.3)	1,087 (7.0)	21
令和2年3月	15,522	195 (1.3)	10,832 (69.8)	848 (5.5)	111 (0.7)	...	7 (0.0)	2,682 (17.3)	877 (5.7)	30

- (注) 1 「進学者」には、大学院研究科、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科・別科、専修学校、外国の学校へ入学した者を含む。
 2 「就職者」には、自営業主等、無期雇用労働者、雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の有期雇用労働者及び進学者のうち就職している者を含む。
 なお、進学者のうち就職している者は、「進学者」、「就職者」にそれぞれ計上されているため、項目横計と修了者は一致しない。
 3 「左記以外の者」とは、進学でも就職でもないことが明らかな者である(進学準備中の者、就職準備中の者、家事の手伝いなど)。
 4 博士課程の「修了者」には、所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得した後、学位を取得せずに満期退学した者を含む。

図6 博士課程修了者の主な進路状況



(注) □で囲んだ年度は、最高値である。